

かめ通

kameya
sangyo
tsu-shin
Vol.31

2026.7.21

発行
かめや産業株式会社
広島市西区井口
4-15-1
亀本みほ
082-277-1080



夏本番。広島ではこの時期になると、各地で原爆慰霊祭や追悼行事が行われます。かめや産業の会長も社外活動として地域の慰霊祭の運営に参加し、事前準備や慰霊碑の清掃を行っています。

関西出身の会長ですが、50年以上広島で暮らし、多くの人と関わる中で、平和を願う気持ちには人一倍強くなったようです。核兵器も戦争もない平和な世の中になるためにまず一歩、行動することは大切ですね。

筋肉痛という、おみやげ付き☆

7月7日から9日までの3日間、当社に五日中中学校2年生のハリキくんとムラキくんが職場体験に来てくれました。

倉庫での商品出しや配達、伝票発行など、普段社員が行っている仕事に挑戦。伝票発行では



読めない漢字を教わりながら、入力間違いがないかのチェックもして一安心。
配達では普段通らない道や初めて訪れる場所が新鮮だったようです。

また、重化粧化粧板を運ぶ作業では、「筋肉痛になりましたー!」とのこと。普段使わない筋肉をしっかり使った3日間だったようです。

最終日には、広島市で建具や家具を製造されている(有)ビーライフバンクラさんを訪問。ものづくりの現場を間近で見学し、工場長の「指導のもと、組子づくりも体験させていただきました。さらにバンクラさんの別事業、内職工場も見学したのですが、あとから中学生らしい名言が飛び出します。



が飛び出します。

「内職つて、授業中に他の教科の宿題をやることだと思つてい

ました」

……思わず大笑いした場面でした。

一方で、私たちも中学生から仕事についてのインタビューを受けました。中でも記憶に残ったのが、「学生のうちにやっておいた方が良いことはありますか?」という質問。社員の松本さんは、「アルバイト」と答えていました。学生時代のアルバイト経験が社会人になった時に役立っているそうです。同世代の友達を見ても、仕事が長く続いているのは、学生時代にアルバイト経験がある子だそう。

若社員が自分の体験に基づくしっかりとした仕事観を話している姿を見て、思わず脱帽!の編集長なのでした。

初日は緊張してガチガチだった二人も、帰る頃にはすっかり笑顔に。今回の職場体験が、ものづくりや働くことに興味を持つきっかけになったくれたらうれしいです。

おやつタイムにパチリ☆

